

学校教育 目標	元気とやる気とやさしさあふれる西の台っ子の育成
育成を目指す 資質・能力	確かな学力の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の 課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 県学力定着状況調査(5年)に加え、全国学力・学習状況調査(6年)においても全ての教科・観点で県平均、全国平均を上回っている。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 理解度は高い児童も多いが、基礎・基本の定着が不十分な児童がいる。また、家庭での学習習慣に改善が必要な児童もいる。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) 児童アンケートでは、「書くことができた」と回答する児童(87%)、「話すことができた」と回答する児童(82%)、「聴くことができた」と回答する児童(94%)だった。「聴く」に対して、「書く」「話す」に苦手意識をもっている児童が一定数いることが分かった。	
指導の 状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・「自分の考え」「その根拠・理由」など、話す・書く活動を効果的に学習活動の中に取り入れる。 ・課題に対する「考え」「学習の振り返り」(視点:西の台小学校バージョン)を書く際に、書く時間の保障を行っている。 ・ペア活動やグループ活動を効果的に取り入れ、考えを表現・交流する場の設定をした。 ・授業の中で理解にかかった問題の類似問題に取り組ませている。	
	2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・語彙を増やすために読書時間の確保に努めた。音読ワークや一人1台端末で音読を録音して聞き合った。 ・一人1台端末のロイロノートを使い、発表やプレゼンの授業で考えを伝え合わせる機会をもった。日記等、書く活動を定期的に取り入れている。 ・基礎学力の定着のため、保護者と協力して家庭学習に取り組ませている。 ・テスト後に誤答分析を行い、事後指導に生かす。	

学力に関する達成指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業がわかりやすく楽しい」と回答する児童を90%以上にする。</li> <li>・単元末テストで各教科80点以上の理解ができている子どもの割合を80%以上にする。</li> </ul>

